

## 障がい者スポーツ選手の雇用について

当社グループは創業来、アーティスト、タレント・俳優、アスリートといった人の才能を発揮、表現する場に携わってきました。

昨今ではそのフィールドを、障がい者スポーツ選手にまで枠を広げ、当社に雇用される各選手の活躍を通じて笑顔や勇気を提供しています。

また、選手には競技に専念できる環境を用意するとともに、現役引退後のセカンドキャリアについても環境整備を進めております。

現在ではアルペンスキー、車椅子バスケットボール、ノルディックスキー、陸上の4分野5名の選手が在籍しています。



## 「東日本大震災」における取り組み

当社グループは2011年3月11日に発生した東日本大震災による被災者の皆様の救援や被災地の復興に役立てていただくための義援金として、日本赤十字社を通じて1億円を寄付いたしました。

また、ライブ会場における義援金協力の呼びかけや募金箱の設置、商品収益の一部から寄付を行う仕組みを作るなど、復興の一助となる取り組みを行っています。

一方で、エイベックスビルにおける館内共用部の照明やエレベーター稼働を通常の50%に制限すると共に、ビル看板・LEDビジョンの消灯といった節電対策を実施しています。



エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社  
総務人事本部 総務部 コーポレート広報課

〒107-8577 東京都港区南青山 3-1-30

TEL.03-5413-8508

http://www.avex.co.jp/



2011年3月31日発行



「エンタテインメントを通じて、笑顔を創りたい」

という思いから始まったエイベックスのプロジェクト「avex smile」。

株主、ユーザー、取引先、従業員といったステークホルダーのみならず

あらゆる人々の笑顔を創り出せるよう

地域振興やエコロジー活動など幅広い展開を行っています。

avex smile news

2011

当社グループでは、社員の社会貢献活動、環境保全活動への意識向上を促進するため、社員参加型のエコキャップ収集活動を2008年より開始しました。

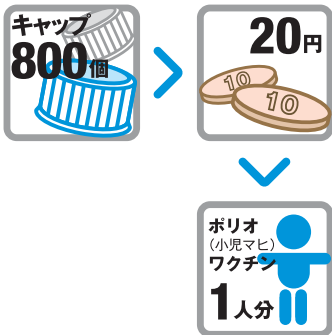
この活動には、社員やアーティストも参加し、現在までに240,232個(2008年8月～2011年3月末時点まで)を収集することができました。

収集されたエコキャップは、リサイクル事業者により回収され、その売却益が約300人分のポリオワクチン<sup>\*1</sup>購入費用となり、JCV<sup>\*2</sup>より発展途上国の子どもたちに届けられています。

## 当社グループで エコキャップ収集活動を実施

### \*1: ワクチンについて

キャップ800個で20円=ポリオ(小児マヒ)ワクチン1人分になります。



### \*2: JCV

JCVとは、世界の子どもを感染症から守るためのワクチンを確保、完全予防対策を支援するための募金活動やこれに関する情報収集、普及啓発活動を行うNPO法人です。



## 開催都市と a-nationが連動した Matsuyama P's Festival 2010

supported by a-nation



## を通じての 地域活性への取り組み

### \*1: Matsuyama P's Festival

人々(People)、力(Power)のかはら(Piece)が集まり平和(Peace)を願い元気で賑わいのある祭りにしたい! という意味がこめられています。

### \*2: 松山城・緑日エリア

城下町まつやまならではの飲食、物産販売のブースや緑日屋台が多数出店。

### \*3: a-nation エリア

a-nation出演アーティストのライブステージゾーンやa-nationオフィシャルグッズやアーティストグッズを販売するショップゾーン、過去のa-nationの模様や出演アーティストの最新PVを大型映像で放映するシアターゾーン、a-nationコラボフードも楽しめる飲食ブースやキッズブースも充実のミュージメントゾーンの4つのゾーンから成り立っています。

2010年8月6日～7日、愛媛県松山市にて地域住民と産学官が一体となった地域の活性を目指すイベント「Matsuyama P's Festival<sup>\*1</sup> 2010 supported by a-nation」が行われました。本イベントは同市において、4回目の開催となる国内最大の野外ライブイベント「a-nation'10 powered by ウイダー inゼリー」と同日程で行われる大規模な運動イベントで、地域の活性化を目指しました。

本イベントは、約35,000㎡の広大な敷地を有する城山公園(堀之内地区)を「松山城・緑日エリア<sup>\*2</sup>」と「a-nation エリア<sup>\*3</sup>」の二つのエリアに分け、子供から大人まで幅広い年齢層が楽しめる企画を展開し、2日間で4万人もの来場者で賑わいました。

今後も、地域住民と産学官が一体となり地域活性の手助けとなるイベントを開催してまいります。







情報・流行の最先端である青山通りを冬のクリスマスシーズンの名所にするを目標として、2003年より毎年、地元地域の皆様とともに開催するイベント aoyama christmas circus を2010年度(2010年11月26日～2010年12月25日)も開催しました。

青山3丁目エリアのクリスマスシーズンを彩る風物詩として、定着しつつあります。

今後も地域の皆様と連動し、心温まる“クリスマスエンタテインメント”を届けていきたいと思ひます。

## aoyama Christmas circus by avex group 2010 を開催



昨今「総合的な学習」の一環として、研修旅行などで中高生が企業を訪問し、社会の仕組みや職業に関して学習するケースが増加しています。

当社ではこれまでも中高生の職場訪問を積極的に受け入れ、グループの事業内容の紹介や、社団法人日本レコード協会と連携し「**創造のサイクル**」といった音楽に関わるあらゆる権利を守るための説明を行っています。また、当社グループ所属アーティストによるミニライブ、スタジオ見学といった体験型プログラムも取り入れてまいりました。

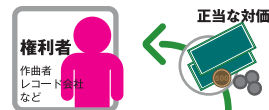
このような取り組みを行った結果、2010年度は過去最多訪問数の**3,896名**の中高生が来社。今後も、次世代のエンタテインメント業界の将来を担う学生の皆様に向け、音楽やエンタテインメントの魅力を発信するとともに、「職業としてのエンタテインメント」の魅力を伝えられるよう、本プログラムのさらなる進化を目指してまいります。

### 中学生・高校生向け 職場訪問プログラム

# エイベックスへ行こう!

～勉強が遊びで遊びが勉強～  
訪問者数が過去最多に!

#### 創造のサイクルとは…

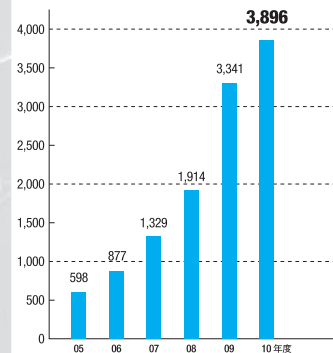


#### 音楽創造のサイクル



正当な対価が支払われなくなると、権利者は音楽制作のための資金がなくなり、世の中に新たなコンテンツが生まれなくなります。

受け入れ人数推移 (単位/名)



## 社会貢献や環境面に配慮した

# commonsの取り組み

当社グループと坂本龍一が共同設立した「commons (コモンズ)」では社会貢献や環境面に配慮したさまざまな取り組みを行っています。



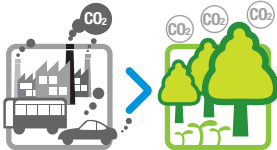
## COMMONS

\*1: 「commons」  
New Music Community  
for Real Artist and Music Lovers

坂本龍一をはじめとするアーティストたちが音楽の新たな可能性を模索すべく、エイベックス・グループとともに設立した新プロジェクトです。エコロジカルな視点を持ち、社会・文化貢献を目指す新しい音楽コミュニティとして、アーティスト/クリエイター、音楽産業、ユーザー/リスナーのよりよい関係を作るための「共有地 (commons)」となることを目的としています。共有地 (commons) の中心に音楽 (music) が存在し続けることを願って、3つの「m」の「commons」と名付けました。

## \*2: カーボンオフセット

日常生活において排出したCO<sub>2</sub> (カーボン) をオフセット (相殺) するために、森づくりや自然エネルギーを導入することです。



## カーボンオフセットを利用した 環境保護活動

「commons for GREEN!」の合い言葉のもと、名実ともに「グリーンレーベル」としての歩み始めた「commons<sup>\*1</sup>」では、2008年6月より同レーベルでリリースした全てのパッケージ商品を、**カーボンオフセット<sup>\*2</sup>**CDとしてリリースしています。

2010年11月および12月に開催された「A PROJECT OF TAEKO ONUKI & RYUICHI SAKAMOTO UTAU TOUR 2010」では、日本国民1人あたりが1日に排出するCO<sub>2</sub>約6Kgのうち、**1Kgをオフセットする費用が含まれた料金設定でチケット販売を行いました。**

## 「commons: schola」シリーズを 全国図書館へ寄贈

commonsとLaundryにより制作したオリジナルTシャツの販売利益により、全国各都道府県の主要図書館 (全50ヶ所) に寄贈する「schola<sup>\*3</sup> プロジェクト」を実施しました。



## \*3: 「schola」

坂本龍一が総合監修を務め、音楽の成り立ちや歴史的背景、社会の関わりまでを検証する現代の音楽全集「schola (スコラ)」シリーズを、様々な環境で活用して欲しいという願いから、各都道府県の主要な図書館に「schola」シリーズを寄付させていただくプロジェクトです。

このプロジェクトは「音楽を大切にしたい」という思いを形にできる取り組みの一環であり、1人でも多くの若者が音楽に目覚め、精神や才能を磨くための力添えができればという思いが込められています。より多くの方々に対して、見知らぬ音楽との出会いが増えれば幸いです。